

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	チャーター便を活用した台湾観光・経済交流、視察事業
事業主体 (連絡先)	松本商工会議所
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,936,084円 (うち支援金: 1,582,000円)

事業内容

平成30年3月4日(月)～3月8日(金)に松本地域の企業および大学関係者等12名が参加し、信州まつもと空港を利用した既存路線乗継ぎによる台湾経済交流事業を実施した。

- ・松本市が友好関係にある高雄市政府の学校教育、健康福祉、経済および観光の分野に分かれ、各担当部局と日本からの訪問団が懇談を行った。また旅行会社を回り、長野県への旅行企画の推進を要望した。
- ・松本大学は、前回の訪問時に連携協定を交わした私立義守大学との留学生の交換が始まっており、今後更にお互いの交流の輪を広げるための懇談を行った。



【左下:義守大学、右上:高雄市政府】
【左下:旅行社、右下:日台交流協会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①松本商工会議所関係者は、高雄市の経済局・観光局に松本の魅力を発信する中国語のホームページをタブレット端末にて紹介。今後お互いに協力して観光情報を発信していくことを確認し合った。また複数の旅行会社を訪問し、旅行企画担当に前述のWebサイトおよび、FDAの外国人観光客限定特別料金企画を紹介するなど、長野県の魅力や信州まつもと空港の利用メリットをPRできた。
- ②松本大学と包括連携協定を締結する私立義守大学の学生を、松本市内の企業がインターシップによる受入れを開始したことを契機に、今回の訪問での意見交換により、今後も双方の大学-多くの企業間において更に人財・技術交流を推進することで合意した。

【目標・ねらい】

- ①台湾との観光・経済交流を通じ松本地域の商工観光振興を図る。
- ②健康福祉教育分野の交流を図る。
- ③信州まつもと空港発着のチャーター便の定期運航を目指す。

※自己評価【A】

【理由】

医療機関・大学官界ではインターシップや交換留学を更に進めることで合意した。観光では松本への旅行企画の推進を旅行社に要望した。

今後の取り組み

台湾との交流事業は、松本市-高雄市の健康福祉・教育などの分野においては目に見える成果を上げており、今後は観光を軸とした商工観光(農林業6次産業も含む)分野における経済交流の発展も目指す上で、信州まつもと空港の利活用・国際化を推進したい。信州まつもと空港発着の国際チャーター便の定期運航に向け、官民各方面に働きかけ実現を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある